

## 母子ふるさと感謝祭（児童会行事）

お世話になっている地域の方に感謝の気持ちを伝え、さらに交流を深めて、もっと地域のことを知りたいという思いで、全校生が分担、協力し合って「母子ふるさと感謝祭」を実施しています。

### 1. 「母子ふるさと感謝祭」に向けての全校児童会

ふるさと感謝祭で地域の方に喜んでもらえるように各学年から、アイデアを出し合って全校児童会で話し合います。高学年の子どもたちを中心に児童会の準備をすすめます。スローガンや会の役割、交流タイムの内容など、事前にクラスで決めておいてほしいことを児童会便りで知らせ、意見を持った上で、全校児童会を行います。全校児童会当日、高学年の児童が司会や黒板書記、ノート書記の役割に分かれ、すすめる姿は、大変頼もしく、算数のガイド学習での「つなぐ力」が話し合い活動にも活かされています。

全校児童会を受けて、各学級で準備を行います。スローガンを決め、地域に配布するチラシ作成、プログラム作成、BGM、交流タイムのゲームなど、ふるさと感謝祭に向けて分担した役割を各クラスで準備します。



### 2. 児童がすすめる「母子ふるさと感謝祭」

子どもたちは、「たくさん来てくださるとうれしいな。」と言いながら準備をします。



### 3. ふるさと感謝タイム

①低学年は、生活科の学びを発表します。



②中学年は、総合的な学習の学びを発表します。



③高学年は、総合的な学習の学びを発表します。



### 4. 交流タイム

前半は、子どもたちが考えたゲームやクイズをします。後半は、地域のことをもっと知るために子どもたちが地域の方におたずねをします。



笑顔と熱気に包まれる素敵な会になります。